

20160328

2016年3月28日 日本テレビ 定例記者会見 《要旨》

＜発表＞

・映画「あやしい彼女」公開

4月1日、エイプリルフールに映画「あやしい彼女」が公開する。多部未華子さん主演で、日本テレビの水田伸生が監督を務める。とても面白い映画なので、劇場でご覧いただきたい。

1. 視聴率動向と編成戦略

・視聴率データ

年明けからこれまで、12週のうち11週は三冠王を獲得できた。視聴者の支持があってのことと受け止めているが、他局も頑張っているので、謙虚に番組の内容をよく分析して、視聴率がさらに向上するよう改善を図りたい。

・番組改編に関して

今期は金曜20時のバラエティ一番組を改編する。新番組「究極の○×クイズS H O W！！ 超問！真実か？ウソか？」は、理屈抜きに楽しんでいただける○×のクイズ番組で、これまで特番で何度か放送し、手応えを得ている。また、新ドラマはキャストもよく、楽しい企画が揃っているので、あわせて期待している。

2. 営業状況

・放送収入

2月の放送収入の状況は、タイム、スポットとも前年を越えた。タイムは単発の東京マラソンや、うるう年で1日多かったことも影響しているようだ。スポットではエリアの市況も前年を上回り、日本テレビもかなり好調に推移した。間もなく通期の見通しが出るが、第三四半期が終わった時点で公表している通り、放送収入は前年を上回る形で着地できると思う。

・放送外収入

「ちはやふる」は広瀬すずさんの主演映画だ。[上の句]が3月19日に公開。続いて[下の句]が4月29日に公開予定である。約ひと月の間に、二つの作品が連続公開する仕組みになっており、上の句は概ね好調にスタートした。

Bunkamura ザ・ミュージアムで開催中の「ボストン美術館所蔵 僕たちの国芳 わたしの国貞」の入場者数は順調だ。浮世絵がいい状態で残っており、非常に評価が高い。

また「ドラゴンクエスト ライブスペクタクルツアー」は男性の勇者のオーディションが終わり、その模様は4月の「1億人の大質問！？笑ってコラえて！」の放送内で発表する予定。前売りの状況は好調で、4月23日に一般発売が開始する予定。

3. その他

・ G E M について

海外で展開している GEM では、ZIP! のコーナーである速水もこみちさんの「MOCO'S キッチン」を 1 つの番組として放送している。3 月 12 日には速水さんにもお越しいただいて香港でイベントを行った。その様子は ZIP! でも後日放送する予定。日本のタレントさんによるアジア各国の配信地域でのイベントなど、GEM の認知度を高める工夫をこれからも積極的に取り組みたい。

GEM の現在の展開エリアは、香港、インドネシア、カンボジア、タイだが、今後はシンガポールやマレーシアが焦点だ。さらにその近隣のベトナムなども視野に入れている。事業規模は配信可能世帯数で考えてもらえばと思う。また、GEM で放送されている日本のコンテンツはすべて日本テレビのものであるが、海外の人たちにも受け入れられていて、日本のバラエティーも世界に通用する可能性があると感じている。コンテンツの評価がいいので、GEM における日本テレビの番組の比率は当初よりも増えている。

・ 野球賭博等と巨人戦について

プロ野球は子どもたちの憧れのプロスポーツでもあり、選手はヒーローだ。こうしたことをよく考え、自分の行動には責任を持ち、襟を正してプレーに打ち込み、信頼を回復してもらいたいと思う。

プロ野球中継は開幕 3 連戦、日本テレビで巨人戦を中継したが、野球の魅力を引き続きしっかりと伝えていきたい。中継については特段の影響はない。

・ 4K 放送コピー制限について

4K 放送のコピー制限については、民放連の井上会長が記者会見でお答えした通りだ。違法動画問題や権利保護の問題等々があって、民放連としてはその他の権利者団体とともに協議をしている状況だと思う。私たちは一定のコピー制限をぜひ検討してもらいたいという立場を取っている。さらにそれ以外にも、録画して CM を飛ばして見るという視聴形態は、私たち民放のビジネスの根幹にかかわる問題であると認識している。民放は NHK とは事業形態が違うため、違法動画の問題、権利者保護の問題に加えて、そのような観点からも問題を提起したい。

・ 新キャスターについて

近藤春菜さんをサブ MC に迎えてスタートしたスッキリ！！は、番組がまた一段と明るく楽しくなり、良かったと思う。ZERO の新キャスターを務めてくれる又吉直樹さんは、芸人でもあり文化人でもある。そのような感性で、報道が取り上げる問題を適切、的確に取り上げて視聴者にお届けしたいと、現場が選んだと理解している。いい人選だ。

・ Hulu と動画配信の今後

TVer がサービス開始から間もなく半年。タイムシフト視聴が少しづつ増加している中、広告付きの動画配信事業がビジネスとして成長すれば、事業として補うことができる。ぜひ多くの人に利用していただき、この事業が成長していくことを望んでいる。

一方、Hulu の会員数はほぼ順調に推移しており、こちらも成長させていきたい。今年からスタートした、プロ野球ジャイアンツ戦の Hulu 生配信は、すでに会員の Hulu ユーザーにもっと楽しんでもらうことと、これから加入を検討している方のきっかけになることも狙いだ。

昨秋から Netflix や Amazon、dTV 等、動画配信事業は競争が激化している。その影響を私たちも少し心配していたが、この半年間を見る限りではそう大きな影響を受けていない。Netflix は会員数を全く公表していないが、動画配信市場全体としては拡大していると受け止めている。淘汰があるとしたらこれからだと思う。

【出席者】

大久保好男 代表取締役 社長執行役員

小杉善信 取締役 専務執行役員

丸山公夫 取締役 専務執行役員

(了)